

／／これからの社会を生きる子どもたち スクラムでつなげ育てよう！！／／

アプローチ・スタートアップブック

御前崎市教育委員会では、「郷土を愛し、未来を創る人づくり」を目指し、園・学校・家庭・地域・行政が連携を深め、社会総がかりで協働し途切れのない教育を推進する取り組みを「スクラム御前崎」と名付けています。そのよさを生かし、園から小学校へのなめらかな接続を重視し、これまでの園での学びを小学校でさらに伸ばしていけるようスクラムを組んで教育を進めています。

入学までに身に付けたい生活習慣を家庭教育でも大切にして子どもたちを温かく支え、楽しい学校生活への準備をしていきましょう。

幼児期の遊びから小・中学校、高等学校までの一貫した育成を目指した教育

これからの時代を生き抜くための
資質・能力の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性など

学校教育

授業を中心にした学び

幼児教育

遊び・生活を通じた学び

実際の社会や生活で生きて働く

知識・技能

未知の状況にも対応できる

思考力・判断力

表現力など

家庭の教育力・愛着関係

御前崎市教育委員会

わくわくドキドキがいっぱいの学校生活

いよいよ4月には小学校に入学！小学校での充実した学校生活がスタートします。

幼稚園・保育園・こども園での生活は、遊びを中心とした環境を通して行われてきました。保育者は一人一人の思いを大切に、子どもたちは夢中になって「遊び込む」ことで、今後の学習にいきる力をぐんぐん伸ばしてきました。園での学びの土台の上に、学校での学びを積み上げていくことで、途切れない教育が実現し、自分の力を存分に発揮して学びに向かっていく子どもに成長していきます。

これから始まる小学校での学習は、各教科の学習が中心になります。時間割や1日の生活の日課表にそって、集団で生活する学習のスタイルに大きく変化します。中には、この違いにとまどいや不安、混乱をおこす子もいます。年長から小学校1年生のこの時期をなめらかにつなげることで、主体的・対話的で、深い学びの実現を支え、一人一人の「資質・能力」を伸ばしていきます。

つなげることで更なる伸びを実現！

とまどい つまずき

幼稚園
保育園
こども園 など

小学校

入学当初の時間割を工夫したり、生活科の学習を中心に教科を合わせた活動を設定したりして指導の充実を図ります。

今度の学校たんけんでは先生が何人いるか調べてみたいな！



先生の名前をひらがなでサインしてもらおうよ

自ら考えたり、判断したりする場面を意図的に作り、一人一人の子どもの力を引き出すことを大切にします。

おさらを持って食べていたよ



園では食事のマナーでどんなことに気をつけていたの？

入学したら挑戦してみたいことがたくさんある1年生への「本当に必要な関わり方」を学校全体で考えます。

自分で行えるよ



くつの整とんが自分の力できちんとできる1年生ってすごいね！

園児と児童の交流活動や、園から高校までの職員の研修や交流を深め、スクラムで人づくりに取り組みます。

小学校って楽しそうだし、お兄さんお姉さんがみんなやさしいな！



先生や上級生、地域のみんなで全力のサポートをします！

早寝・早起き・朝ごはん

～なぜ「早寝・早起き・朝ごはん」なの？～

御前崎市
の現状

生活習慣の乱れ・人と関わる事が上手くできない

- 小1プロブレム、中1ギャップ
- 少子高齢化、核家族
- 地域コミュニティの希薄化
- DV、虐待家庭
- 問題行動の増加と多様化
- 不登校児童・生徒の増加
- 対人関係に悩む子どもの増加

～生活習慣の乱れは、学習意欲・体力・気力の低下の要因のひとつ～

基本的生活習慣の確立



早寝

成長ホルモンを分泌し、
脳・骨・筋肉のよりよい成
長を促す



早起き

朝の光は、脳を覚醒させる
ホルモンを分泌し、活動に
適した体にする



朝ごはん

脳のエネルギー(ブドウ
糖)を補給し、しっかり活
動できる状態をつくる

子どもたちが本来もっている すばらしい力(意欲・体力・気力)を引き出す

ゲーム障害・ネット依存の予防 令和元年度からの取り組み

これまでの取り組みにより、朝ごはんを食べて学校に登校する子どもたちの割合が増えてきました。朝スッキリ起きることができない子の生活の様子を調べたら、ゲームやTVなどで寝る時間が夜遅くになっている様子が見えてきました。

2019年5月WHOは「ゲーム障害」を国際疾病の一つとして認定、今後の社会の様子からもますます関心が高まっています。早い時期からの取り組みが子どもたちの未来をつくれます。



おすすめの本の紹介

- ネット依存症(樋口進/PHP新書)
- スマホが学力を破壊する(川島隆太/集英社)
- 読書がたくましい脳をつくる(川島隆太/くもん出版)
- 頭のよい子に育てるために
3歳から15歳のあいだに今すぐ絶対
やるべきこと(川島隆太/アーチブメント出版)
- スマホに負けない子育てのススメ(諸富祥彦/主婦の友社)



〈ネット依存・ゲーム依存が
よくわかる本〉

■ 著者: 樋口進
■ 出版社: 講談社

夢中になって「遊び込む」子どもたちの育ちや学び

ここにあげた姿は幼児期にふさわしい遊びや生活の積み重ねにより育まれる具体の姿の一例です。
 全ての子どもたちに同じようにみられるものではなく、一人一人の発達に応じてこれからも育っていきます。
 幼稚園・保育園・こども園では、これらのめざす姿を共有し、スクラムを組んで子どもたちの育成に努めています。
 小学校では、幼児期の遊びを通した学びが各教科の学習につながるよう、工夫した指導を行っています。



参考 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」より

健康な心と体

- 思いきり体を動かし、様々な動きを楽しむ
- トイレの使い方がわかり自分で排泄ができる
- 進んで身の回りの安全に気をつけようとする
- 衣服や靴の着脱、物の片付けなど自分でやろうとする
- 手洗い、うがいができ、食事のマナーを守って姿勢よく食べることができる



自立心

- 自分がやりたいことを自分で選び、進んで挑戦しようとする
- 難しいことでも考えたり工夫したりしながら、あきらめずに取り組む
- みんなから認められる中で、やる気や自信をもって行動できるようになる



社会生活との関わり

- 家族や友達、先生に親しみをもち、大切にすること
- 「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつができる
- 公共の施設など、相手の気持ちや場所、状況を考えて行動しようとする
- ふれあいの中で自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもち

協同性

- 仲間と一緒に活動する楽しさを味わい、参加することができる
- 協力して取り組み、目的を達成しようとする
- 互いの得意なことを生かし工夫して、楽しみながら進める
- 思いや考えを出し合いながらみんなでやりとげる

道徳性・規範意識の芽生え

- してよいこと、悪いことがわかり考えて行動できる
- 相手の気持ちを考えたり、自分の行動を振り返ったりできる
- 我慢したり折り合いをつけたりして自分の気持ちをコントロールする
- 生活や遊びの中のきまりがわかり、守ったり新たに作り出したりする



数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

- 生活や遊びの中で、物の数を数えたり、大きさや長さを比べたりする
- 様々な形、ブロックなどを組み合わせてイメージしたものを作る
- 丸、四角、三角などの形や「上下」、「左右」、順番などがわかる
- 絵本や文字に興味をもち、進んで読んだり、話したりしようとする



思考力の芽生え

- 物の特徴を生かして考えたり、予想したり、工夫したりして楽しむ
- 仲間との関わりの中で、自分と異なる考えがあることに気付く
- 自ら判断したり、考え直したりして、よりよいものにしようとする
- 主体的に物事にに関わり、新たなことを感じ取ったり、気付いたりする

自然との関わり・生命尊重

- 自然に触れ変化やすばらしさを感じ、関心をもつ
- 不思議に感じたことを考え、図鑑で調べたり、試したりする
- 身近な動物や植物に関わり、生命を大切にしようとする
- 自然と関わり遊ぶ中で、気付いたことや考えたことを言葉で表現する

豊かな感性と表現

- 感じたことや思ったことを道具や材料を使って表現する
- 動きや音で表現したり、演じて遊んだりすることを楽しむ
- 友達と一緒に考えを出し合い、工夫していくことを楽しむ
- 体験したことを形や色の変化を楽しみながら、描いたり作ったりする

言葉による伝え合い

- 絵本や物語などのお話の世界の言葉に親しみながら覚えて使う
- 先生や友達に自分の思ったことや感じたことを言葉で伝える
- 経験した出来事や体験して楽しかったことを順序立てて話す
- 集団の中で先生や友達の話をきちんと聞いて行動することができる



家庭の教育力



「親子読書」はしあわせのひととき

家族と一緒に本を読んだり、地域のおはなし会に出かけたりする時間。それは、読書の楽しさを通じて子どもと心が通い合う大切なひとときです。園や学校では読み聞かせや読書の時間を大切にしています。

親子や家族のふれあいの中で、読書のすばらしさが次の世代に伝わっていく「親子読書」。あなたの御家庭でも楽しんでみませんか。



乳幼児から 小学校低学年までは

絵本や物語、科学・工作の本、ことば遊びの本…。ジャンルに富んだ「読み聞かせ」は、子どもの世界を広げ心を育みます。



幼児版

幼児期の子どもが好きな「たべもの」「のりもの」などの各ジャンルから、おすすめの絵本を28冊、ホームページ上で15冊紹介しています。幼稚園、保育園、こども園の年少児と保護者に配布しています。



「ぐりとぐら」
なかがわ りえこ／文
おおむら ゆりこ／絵
(福音館書店)



「ちいさいしょうぼうじどうしゃ」
ロイス・レンスキー／文・絵
わたなべ しげお／訳
(福音館書店)



「ちいさなねこ」
石井 桃子／作
横内 義／絵
(福音館書店)



「子どもとお母さんのあそびうたえほん」
小林 衛己子／編
大島 妙子／絵
(のら書店)



幼児版
ブックリスト



小学生版

「低学年向け」32冊、「中学年向け」20冊、「もっとよみたいみなさんへ」10冊の計62冊を紹介しています。学校を通じて県内すべての小学校一年生に配布しています。



「ベレのあたらしいふく」
エルサ・ベスコフ／作・絵
おのでら ゆりこ／訳
(福音館書店)



「王さまと九人のきょうだい」
君島 久子／訳
赤羽 末吉／絵
(岩波書店)



「シンドバッドの冒険」
ルドミラ・ゼーマン／文・絵
脇 明子／訳
(岩波書店)



「おちばのしたをのぞいてみたら」
皆越 ようせい／写真と文
(ポプラ社)



小学生版
ブックリスト

※静岡県教育委員会 社会教育課「始めよう『親子読書』」リーフレットより一部抜粋

御前崎市立図書館アスパル

所在地 御前崎市池新田5560(御前崎市役所東側) ☎0537-86-8181

開館時間 火・金：午前9時～午後7時 / 水・木・土・日・祝日：午前9時～午後5時

休館日 毎週月曜日、月曜日と重なる祝日と翌火曜日、年末年始(12/28～1/4)※変更の場合あり
毎月第4木曜日(整理日・特別整理期間(不定期)は休館)

親子で運動遊び・体力づくり

子どもの身体能力、運動能力は5～12歳（年少～小学校6年生）のゴールデンエイジに著しく発達します。体の動かし方や生活に必要な動作、運動技術を身につけるのに最適な一生に一度だけのこの貴重な時期、親子で一緒に楽しみましょう！



今！！が大切なわけ

- 幼児期の体を使った遊びは、これからの発達に大きな影響を与えます。
- 体を使った遊びは、運動能力の向上だけでなく、意欲や主体性、向上心、社会性なども高めます。
- この時期の親子遊びは、親子の絆を深め、子どもの情緒の安定にもよい影響を与えます。

ふじのくに「ファミリー・チャレンジ・プログラム」にチャレンジしよう！できるかな？

振り棒とび

走る 跳ぶ リズム 力

新聞紙などで作った棒をリズムよく振り、その上を跳んでみよう

慣れたら、棒を回したり、高さを変えてジャンプ！

新聞紙アタック

跳ぶ 投げる リズム 力

ボールがうまく投げられるよ

新聞紙を片手でたたいてみよう

慣れたら、新聞紙の高さを変え、ジャンプしてアタック!!

ハンドパワーでグルリンコ

走る リズム 力

5秒間、ひじとひざをつけられるようにがんばろう！

わきをしっかりとしめてやろうね

ひじが伸びないように回転してみよう

肩をひねらないように気をつけようね

の～びのび

やる気 力

親子で背中合わせに座ってお互いの背中に乗ってみよう

からだ全体がやわらかくなるよ

慣れるまでは、子どものひじをつかんで背中に乗せてね

足の先まで手が届くかな？

お父さん、お母さんは手をついて、背中を押してね

※ふじのくにファミリー・チャレンジ・プログラム パンフレットより一部抜粋
(スポーツ・文化観光部スポーツ局スポーツ振興課、監修：静岡県子どものスポーツ指導者会議)



他にもいろんな運動遊びがあるよ！ぜひチャレンジしてみてね！



ふじのくに
ファミリー・プレイ・プログラム



子どもの体力向上
ふじさんプログラム



子供の体力向上ホームページ
(日本レクリエーション協会)



公益財団法人日本スポーツ協会
アクティブ★チャイルド★プログラム
遊びプログラム

小学校には、いろいろな学びの場があります

その子に合った学びの場が、その子の自信や力を伸ばす最適な環境と考え、適切な支援と指導をしていきます。子どもたちが安心できる居場所づくりを一緒に考えていきます。

通常学級

通常学級＋通感指導教室

言語(すみれ)

▶ 発音・言語表現 など

発達(さくら)

▶ コミュニケーション など

通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のも

〈対応小学校〉

言語：第一小学校

発達：白羽小学校／第一小学校

※令和3年度



特別支援学級

知的学級

○知的発達の遅れ ○意思疎通に軽度の困難

○一部援助が必要 ○社会生活への適応が困難

〈対応小学校〉市内全小学校 ※令和3年度

自閉情緒学級

○自閉症またはそれに類するもの

○意思疎通及び対人関係の形成が困難

○心理的な選択性 かん黙など

〈対応小学校〉市内全小学校 ※令和3年度

肢体不自由学級

補装具の使用によっても歩行や筆記など、日常生活における基本的な動作に軽度の困難がある程度のも

〈対応小学校〉御前崎小学校 ※令和3年度

弱視学級

拡大鏡などの使用によっても通常の文字、図形などの視覚による認識が困難な程度のも

聴覚学級

補聴器などの使用によっても通常の話声を解することが困難な程度のも

特別支援学校

知的

○知的発達の遅れ

○意思疎通の困難

○ひんぱんに援助

○社会生活への適応が著しく困難

肢体(知的重複)

○装具によっても、歩行や筆記など、日常生活における基本動作が困難

○ひんぱんに援助が必要

○常時、医療的観察が必要

県立掛川特別支援学校

▶ 浜岡地区

県立吉田特別支援学校

▶ 御前崎地区



学校・園の職員はもちろん、相談窓口や医療など専門機関も相談にのってくれます

もしも、子どものことや発達について悩んだり困ったりしたら…

一人で抱えず
まず相談！

子どもの気になる表れは「気づいて！」「助けて！」のメッセージ
そして、成長のチャンスの時です！！

園・小学校では、担任や学年の先生、特別支援コーディネーター、
小学校の養護教諭、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー

教育相談

- 御前崎市学校教育課 ☎ 0537-29-8734
毎月1回、教育相談員による教育相談を行っています。
申し込みは、園・学校を通してお便りでお知らせします。

児童・子育て相談

- 御前崎市こども未来課
御前崎市家庭児童相談室 ☎ 0537-85-1151
家庭児童相談員が、子育てに関する悩み・不安
などの相談に、電話や面接にて応じます。

こころの健康相談日

- 御前崎市福祉課障がい支援係 ☎ 0537-85-1121
自分や家族の心の悩みや行動・性格などの相談に、
カウンセラー(精神科医)が応じます。

児童虐待

- 御前崎市こども未来課 ☎ 0537-85-1120
- 西部児童相談所 相談窓口 ☎ 0538-37-2810
- 西部児童相談所 緊急用 ☎ 0538-33-4199

その他、相談機関や医療機関は、御前崎市こまもり親子育てガイドをご覧ください